

第313号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成27年度 検査セミナー 開催される 1~2
- 平成27年度日臨技・兵臨技主催・相談ができる臨床検査技師育成講習会を開催・第3回西播地区グループ研修会 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 《賛助会員コラム》・《各部局報告》・《求人情報》 6~7

平成27年度 検査セミナー 開催される

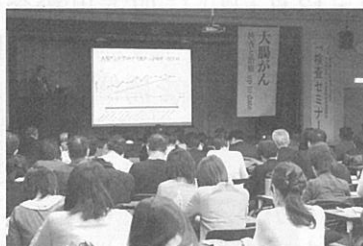
平成27年12月5日兵庫県私学会館4階大ホールに於いて、(公・社)兵庫県臨床検査技師会と兵庫県がん診療連携協議会の共催で、がん診療に従事する医療関係者を対象とした『検査セミナー』が開催されました。今年度は「大腸がん」検査と治療 up to date」をテーマに、次の2つの講演がありました。

講演1 「大腸がん ～診断から治療まで～」

福永 睦 先生 (県立西宮病院 消化器外科部長)



福永 先生



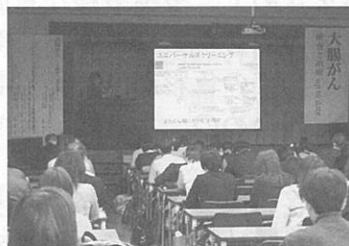
講演2 「マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査とミスマッチ修復 (MMR) 遺伝子

～遺伝性腫瘍の診断が新薬の効果予測になる?～」

松本 光史 先生 (県立がんセンター 腫瘍内科)



松本 先生



講演は、大腸がんに関する診断と治療、日頃の業務に則した実践的な検査に加え、今後注目される検査など興味深い内容でした。

福永先生は臨床医の立場から診断および手術、化学療法、緩和医療にいたる過程を基礎からわかりやすく丁寧に解説しておられました。特に動画(ビデオ)を用いて説明された内視鏡手術・治療の様子は日ごろあまりみることがありませんので、新鮮であり、圧巻でした。このように診断から治療まで、いわゆる検査の前後の流れを理解することは検査の位置づけと重要性を再

検査セミナー
大腸がん
検査と治療 up to date

開催日 12/5(土) 14:00~17:00

場 所 兵庫県私学会館 4階大ホール
神戸市中央区八幡通4-1-38

講師1 大腸がん ～診断から治療まで～
兵庫県立西宮病院 消化器外科部長 福永 睦 先生

講師2 マイクロサテライト不安定性(MSI)検査とミスマッチ修復(MMR)遺伝子
～遺伝性腫瘍の診断が新薬の効果予測になる?～
県立がんセンター 松本 光史 先生

会場 兵庫県立がんセンター
検査部長・腫瘍内科部長 杉山 肇 先生

兵庫県私学会館4階大ホール

お問い合わせ 078-271-0255 (受付時間 平日 9:00~17:00)
申し込み 県立がんセンター 腫瘍内科 078-271-0255

兵庫県がん診療連携協議会・(118)兵庫県臨床検査技師会

認識できる良い機会になります。

松本先生はMSIに関する検査と今後の展望について講演されました。MSIによる抗PD-1抗体の効果予測は少し難しい内容でしたが、最近話題の抗PD-1抗体について理解することができたと思います。PD-1抗体薬は、悪性黒色腫以外にも、腎細胞がん、非小細胞肺癌、大腸がん、卵巣がんや前立腺がんなどで、次々と臨床効果が明らかになりつつあるそうです。がん治療新時代のトピックスをわかりやすく説明していただきました。

当日は検査技師だけでなく他の職種の方々も多数参加して大盛況のうちに閉会となりました。今後も最新の検査と診断・治療に関するセミナーが開催される予定です。会員の皆様も、日々進歩する現代の医療を学ぶことができるこのようなセミナーに積極的に参加してみてはいかがでしょうか。
(文責：広報部)



平成27年度日臨技・兵臨技主催

「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を開催

平成27年12月12日(土)・13日(日)に加古川総合保健センターマリナホールにて、日臨技・兵臨技主催の検査説明・相談に必要な知識及び技術を習得するための講習会を開催しました。

今日の医療に臨床検査は欠かせないものですが、検査項目が拡大し、検査の技術や知識が高度化したこともあり、多忙な医師、看護師が十分な検査説明を行うことが年々難しくなっており、適切な業務分担を導入する意味でも臨床検査の専門職としての臨床検査技師に協力が求められる時代になってきました。さらに医師などの業務負担を軽減することが可能になるとされています。患者さんに向けた検査説明には、検査値の持つ意味やどのような仕組みで検査が行われているか等の知識を含めて、多種多様な質問に適切に対応できるコミュニケーション能力が必要となります。開催されている講習会は従来、技術専門職としての色彩が濃く、対話を通じたスタイルに不慣れな臨床検査技師のための一步を踏み出すきっかけとなるような講習会と位置付けてよいと思います。

昨年度同様、兵臨技中町会長の開会の挨拶からスタートし、日臨技の指定ビデオ講演として、日臨技宮島会長による臨床検査技師の検査説明・相談に取り組む姿勢について聴講しました。検査医、看護師、臨床心理士、接遇講演のプロなどの多種多方面の先生方を招き、検査説明に必要な、主にコミュニケーションについての講演とすでに検査説明を始めている施設、検査説明講習会の聴講後に始めた施設の実例紹介を行っていただきました。

受講者は57人でした。非常に熱心な意見や質問があり、受講者の皆さんが検査説明について真剣に考えていることがうかがえました。この講習会を受ければ、即、検査説明ができるというものではありません。一方的な一般的な説明に留まるのではなく、患者さんの病態にそって

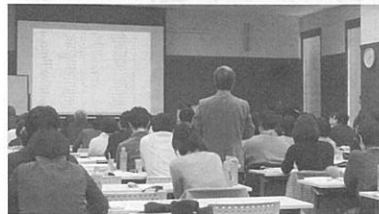


判断するため、臨床検査全体に精通するだけでなく薬学、栄養学などの基礎知識の習得が必要な場合もあると思います。臨床検査技師が検査説明・相談を進めるには、課題は多くあります。しかしながら昨年の講習と比較して臨床検査技師の意識革命を感じました。できるところを施設に合わせて模索し、その方法や成果を情報交換することにより、全体に広がっていき考えています。

平成28年度は3年目になり、この企画の最後の講習会となります。講習会に多くの方に参加していただき、検査説明への意識を高めていきたいと祈願いたしております。

すべては患者さんのために！ 臨床検査技師の未来のために！（佐守先生の講演内容から）

（文責：兵庫県担当 井垣・広報部）



第3回西播地区グループ研修会 (11月18日)

● 講演要旨



島田 先生

「おさえておくべき免疫検査の最新情報」 ～HTLV検査から見る妊婦感染症検査の展望～

平成27年 11月 18日太子町立文化会館（あすかホール）にて開催された
第3回西播地区グループ研修会は免疫検査についてお話していただきました。

島田 敦史（アボットジャパン(株)）

HTLV-1はCD4陽性T細胞に感染し、一度感染してしまうと終生ウィルスを持ち続けるキャリアになります。現在、日本国内におけるキャリア数は推定108万人存在し、地域別キャリア率は、九州・沖縄地区が全キャリアの45%、残りの55%が全国に存在すると言われています。キャリアの95%の方は生涯何の問題もなく過ごされますが、約5%の方に難治性の成人T細胞白血病（ATL）、0.3%にHTLV-1関連脊髄症（HAM）、0.1%にHTLV-1関連ブドウ膜炎（HU）が発病すると報告されています。HTLV-1の主な感染経路は次の3つのルートが考えられます。母乳を介して乳児に感染する母子感染、性交渉によって感染する性行為感染、輸血により感染する輸血感染です。輸血感染では、1年間に献血で1,900人のキャリアが発見されていますが、本血液は輸血血液として使用されないため輸血感染はほぼ0と報告されています。また、性行為感染ではキャリアからHAMを発症する可能性はありますが、ATLは発症までの潜伏期間が感染後およそ50年とされ、成人が感染しても発症する可能性は非常に低いと報告されています。すなわちATLの発症は母子感染例に限られており、母子感染予防を行うことが直接ATL撲滅につながることを考えられています。また、厚生労働研究板橋班と日本産婦人科医会との共同研究によると、妊婦健診で1年間に約1,800人のキャリアが検出されており、その内で母乳を介した母子感染は約20%程度と報告されています。すなわち、何も介入しなければ360人が母子感染し、18人が将来ATLを発症することになるといえます。一方で、完全人工乳、3ヶ月までの短期母乳、凍結母乳のいずれかを選択すれば母子感染率は3%まで減少するとされ、母子感染例は54人にまで減少し、ATLの生涯発症は2.7人にまで減少させることが可能であると報告されています。

今後、HTLV感染も含む理想的な母子感染予防体制の確立の為には産婦人科医と小児科医を中心に地域助産師や保健師らの密接な連携が期待されています。

賛助会員

ヨラム [46]

Leica
 BIOSYSTEMS

ライカ マイクロシステムズ(株)

いのちを救うための癌診断を向上する

江島 洋 (ライカ バイオシステムズ事業本部 営業部 部長)

今月はライカ マイクロシステムズ株式会社、ライカ バイオシステムズ事業本部の紹介をさせていただきます。ライカ マイクロシステムズは1849年ドイツにて創業し、いくつかの会社との統合を経た後、2005年にアメリカ企業であるダナハーに買収されました。顕微鏡を主体とするライカ マイクロシステムズと病理関連機器・試薬を主体とするライカ バイオシステムズに企業体は分かれています。

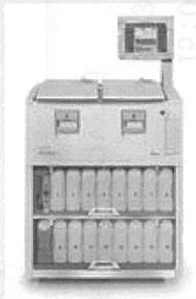
今回は病理関連機器・試薬を主体とするライカ バイオシステムズのビジネスを簡単に紹介させていただきます。

ライカ バイオシステムズはそのミッションとして「いのちを救うための癌診断を向上する」を標榜しており、病理診断のプロセス(検体の収集から診断・レポート作成)をほとんどカバーする機器・消耗品を取り扱っています。いくつか製品を紹介させていただくと、カセット印字機(IPC)、ティッシュ・プロセッサ(Peloris II、ASP6025)、包埋センター(Arcadia H&C)、滑走式ミクロトーム(SM2010S)、染色装置(ST5020)、自動封入装置(CV5030)、クリオスタット(CM1950)、免疫染色装置(BOND III)、スライドスキャナー(Aperio AT2)また各プロセスにおける各種消耗品・試薬を販売しています。新製品は包埋センターのArcadia H&Cで2015年の11月に販売を開始しました。人間工学に基づく大きめのリストパッドが作業を効率化させます。

こうして病理プロセスをほとんどカバーする製品を提供することにより、全体のワークフローに関するソリューションを提供し、ひいては診断信頼性の向上を図っていく所存です。今後ともライカ マイクロシステムズ株式会社、ライカ バイオシステムズ事業本部を何卒よろしくお願いいたします。



Arcadia H&C



Peloris II



CM1950

各局局報告

学 術

病理・細胞検査研修会

(12月19日)

● 研修会を開催して

川村 道広 (近畿中央病院)

2015年12月19日、兵臨技病理・細胞検査研修会を明和ホールで開催した。師走の忙しい時期、またスター・ウォーズ/フォースの覚醒『エピソード7』のロードショー直後であったが、30名の参加があった。今回は日常業務における身近な疑問、質問の解決をテーマに研修会を行った。

まず「HE染色の染め方による比較検討」と題して、小林真先生(兵庫県臨床検査研究所)に講演していただいた。病理の基本であるHE染色について、研究班員の各施設で染色した標本を比較検討したが、施設の差が大きく出ている。

次に県立尼崎総合医療センターが新しく開院したので、「総合新病院病理検査室の構築」について、松木慎一郎先生(県立尼崎総合医療センター)に報告していただいた。新しい病理検査室構築のポイント、苦労話や失敗談など会場は笑いに包まれながらも大変興味深い講演であった。新しい施設の最新設備は実際に見学してみたいと思った。

最後に、「免疫組織化学酵素抗体法の超基礎」について明日から使える実践編ということで、柳田絵美衣先生(神戸大学医学部附属病院)より基本的な原理、操作法の説明に加え、失敗しない免疫染色のポイントについて実際の手技をモニターに映しながら実演を交えてのわかりやすい講演があった。

また、初めての企画として、「今更聞けない病理検査駆け込み寺」を行った。その名のとおり、どうしようもなくなって最後に頼りにする場所のことを言うが、メールで質問を募集したものの、残念ながら応募はなかったため、班員の施設や関連施設の新人を中心に、日頃の検査業務で疑問に思っていることについてアンケートを行った。薄切時の刃の角度や、どうして退色が起こるかなど素朴な疑問が多数寄せられ、研究班班員で解説を行ったが、いつも当たり前に行っている業務について原理や重要性を再認識することができた。帰ってすぐ使える内容が多く当院でも業務の変更を行っている。

今回の研修会は日臨技生涯教育点数を基礎20点にした。今後も検査の基礎や管理運営に関する研修会も企画し、専門点と基礎点とのバランスが取れるように配慮していきたいと考えている。

今後とも兵臨技病理細胞検査研究班の研修会にご参加のほどよろしくお願いいたします。



小林 先生



松木 先生



柳田 先生



実 演



求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●一般社団法人西宮市医師会 健診部

交 通：JR・阪神西宮駅 徒歩10分

採用条件：嘱託

業務内容：人間ドック業務での生理機能検査

連 絡 先：0798-26-9497 (健診部 清水)

●県立姫路循環器病センター

交 通：JR姫路駅下車 北口からバス約12分

採用条件：非正規職員(勤務日数、時間は相談可)

業務内容：病理・細胞診検査

(細胞検査士有資格者)

連 絡 先：079-293-3131 (検査 桑島)

●医療法人社団 深水内科医院

交 通：JR舞子駅下車 山陽バス54系統

「多聞団地センター」バス停すぐ

採用条件：正社員(パート可)

業務内容：臨床検査(主に超音波検査)

連 絡 先：078-782-0016 (深水)

●医療法人社団六心会 恒生病院

交 通：神戸電鉄道場南口下車 徒歩5分

採用条件：パート勤務(勤務時間相談可能)

業務内容：超音波検査出来る方

(その他検査業務全般)

連 絡 先：078-950-2622 (総務課 山崎)